

## 津軽森林鉄道の林業遺産の認定について

### (1) 対象名

我が国初の森林鉄道 「津軽森林鉄道」 遺構群及び関係資料群

### (2) 内容

津軽森林鉄道は、動力車による牽引を前提とする森林鉄道として、日本で最初に建設され明治42年11月30日に竣工しました。

青森市沖館の青森貯木場を起点とし、全長は本線だけで67kmに及び日本で建設された全森林鉄道の中で最長を誇ります。また、51路線の支線、分線を含めた総建設延長は283km、実運用最大延長は昭和33年の235kmであり、これらも我が国最大です。

また、森林鉄道の動力車として最初に導入されたボールドウィン社製蒸気機関車は、その後、各地の森林鉄道において活躍しました。なお、分水嶺を越える路線としても最初のもので、2本の隧道が設けられるなど、その後の森林鉄道建設の基準となりました。

現在、本支線の軌道跡、相ノ股隧道、ヒバ製及び鋼製橋梁等の遺構が豊富に確認され、ディーゼル機関車、客車なども保存されていることに加え、開設当初からの林道台帳及び図面や写真類が多数保存されています。

#### 【東北森林管理局保管】

認定対象分類	対象遺産	所在地	保存施設名
搬出関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相ノ股<sup>あいのまた</sup>隧道遺構</li> <li>○ ヒバ製及び鋼製橋梁等主要遺構               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンクリート橋台群</li> <li>・ 眺望<sup>ちようぼうざん</sup>山路線跡</li> <li>・ 片刈石<sup>かたかりいし</sup>ヒバ木橋遺構</li> <li>・ 常家戸<sup>じょうげど</sup>橋梁、石垣遺構</li> <li>・ 小田川ガーター橋遺構</li> </ul> </li> </ul>	外ヶ浜町  外ヶ浜町 青森市 中泊町 五所川原市 五所川原市	} 国有林内
資料群	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係営林署別旧林道台帳</li> <li>○ 津軽森林鉄道関連の地図、実測図面類、写真類</li> </ul>	秋田市 秋田市	

#### 【青森市保管】

認定対象分類	対象遺産	所在地	保存施設名
搬出関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 営林局幹部視察用客車あすなる号</li> <li>○ モノコック鋼製運材台車</li> <li>○ 六郎隧道扁額</li> </ul>	青森市 青森市 青森市	} 青森市森林博物館

#### 【中泊町保管】

認定対象分類	対象遺産	所在地	保存施設名
搬出関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協三工業 4.8t 内燃機関車</li> </ul>	中泊町	中泊町博物館



相の股隧道のレンガ張りポータル



片刈石支線に残る青森ヒバ木橋



小田川支線に残る鋼製ガーター橋



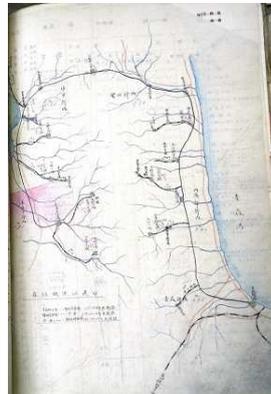
津軽線に軌道敷を譲った瀬辺地橋梁遺構



森林鉄道写真類



台帳類



図面類